



NO. 193

2009. 7. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合
十周年記念 エル・チャレンジセミナー報告

理事長 笹野井 庸夫

去る平成二十二年六月十五日、大阪府福祉人権推進センター(ヒューマインド)において、エル・チャレンジ設立十周年を記念したセミナーが開催されました。当日は仕事を終えたばかりの就労訓練生や就職されている元訓練生、

ありました。

ご自身で、障害者にとって

本当に必要なものとは何なのか、それを是非とも見つけたいという強い意思のもと、

コロナー雲仙という活動拠点

を立ち上げられました。その

中で、世の中の動向や行政・

制度の変遷を見据えながら、

あるべき道筋を探ってきました。

その根本にあるのは、様々な

障害をもった人が自分らしい

生活を送るにはどうあるべき

かという視点です。そのなか

で「働くことが、自ら主体的

に生きる上でとても大切であ

る」と常に心にとどめながら

歩んでこられたことが強く

感じられました。

記念講演に続き、エル・チャ

レンジ十周年記念映像が上映

されました。設立からこれ

までのあゆみを、お集まりの

多くの関係者それぞれ感慨深

くご覧になっていたことと思

います。この映像は今後再編

集の上、「エルチャレ協奏曲」と

いう題でDVD化される予定

です。

その後、エル・チャレンジ

理事長の富田一幸氏より「エ

ル・チャレンジのこれまでと

これから」と題した講演があ

り、十年間の活動報告と今後

の展望を語っておられます。

遅々として進まない障害者雇

用についてエル・チャレンジ

を通じて世に問おうと思立

った。それは、社会の中こそ

が居場所なのであり、すなわ

ち市場そのものが授産である

という「施設なき授産」を理

念に掲げました。それを具体

化する上で「共益団体」とし

ての事業協同組合という方法

を探りあてました。こうして

市場と福祉との共益を目指し、

社会福祉法人と株式会社によ

る日本初の障害者就労支援の

ための事業協同組合、エル・

チャレンジが生まれたのです。

エル・チャレンジが発展し

ていく中で、その活動を支え

たのが大阪府のプロジェクト

「行政の福祉化」です。これ

によって公共施設の清掃業務

が、障害者の就業訓練の場所

として活用されることとなつ

たのです。そして現在清掃現

場について総合評価制度が導

入されました。これは入札に

あたり公共性も評価の対象に

なるということです。

富田理事長はこれからのエ

ル・チャレンジとしては、こ

うした新たな多数雇用事業体

を、今後さらに法制度や支援

方法の両面から発展させたい

と考えておられます。それだ

けではなく、大阪府工賃倍増

計画に参画することで、エ

ル・チャレンジに來れない仲

間もともに市場の扉を開いて

いく。また「大阪刑余者支援ネ

ットワーク」や、七月にスター

トしたばかりの「大阪障がい

者就労・就業サポート協働